

第24号

2010年3月20日

発行

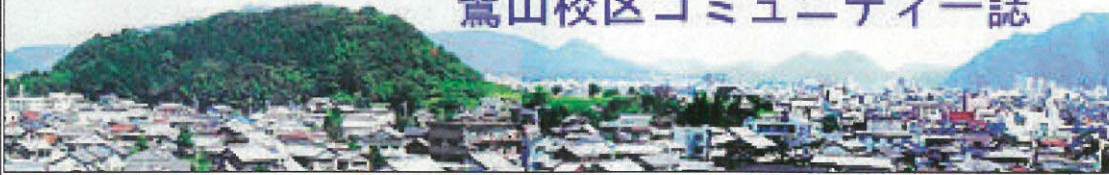
鷺山自治会連合会

鷺山まちづくり

協議会

ふれあい鷺山

鷺山校区コミュニティー誌



祝 新成人



会場の皆さんがシャンパンで乾杯し、新成人の門出をお祝いしました。(国際会議場)

本誌は自治会加入世帯全戸へ配布しています

1月10日、国際会議場において、自治会連合会主催による「新成人を祝い励ます会」が催され、全員が平成生まれの新成人対象者126人の内、96人が出席しました。岐阜市長を始め校区の各種団体長からお祝いの言葉をいただき、今年はシャンパンで乾杯し、思い出のひとコマとなりま

した。初々しくまばゆいばかりの衣装に身を包まれ、緊張した面持ちで大人の仲間入りをした新成人ですが、恩師とクラス仲間を前にして近況報告する姿は、小学生の時に戻ったかのように皆やさしい顔をしていたのが印象的でした。

新成人の ことば

本日は、私たちがのために、このような盛大な式を催していただき、また皆様からお祝いとお励ましのお言葉をいただきましたことを、新成人を代表し、心より感謝申し上げます。

私たちは、「平成」という新しい時代に生まれ、両親や地域社会の保護の下、何不自由なく過ごしてきました。しかし、今日からは、私たちは一人の大人として、責任ある社会生活を送っていくこととなります。それは大いなる誇りであり、喜びでもあります。が、この先未知の世界に対する不安がないわけではありませ

ん。今は、百年に一度の不況とも言われ、就職することも安定した収入を得ることも難しい世の中になってしまいました。そんな時代だからこそ、様々な

人々とふれ合う中で自分らしさを忘れずに、力強く生きていこうと思えます。それが、これからの時代を担う私たちの務めだと思います。しかし、困難にぶつかって決意がくじけることがあるかもしれません。つまずいて、よろめくこともあるかもしれません。そんな時、いつも私を支えてくれるのは、家族であり、お世話になった方々であり、そして何より昔から変わらない仲間です。様々な人の顔を思い浮かべ、精一杯立ち向かっていこうと思えます。それが、これまで私たちが温かく見守り、支えてくださった方々への恩返しとなると信じています。

最後になりましたが、地域の皆様や家族、先生方に感謝しますとともに、今まで以上に指導くださいますようお願い申し上げます。御礼の言葉とさせていただきます。

新成人代表 和田 直之





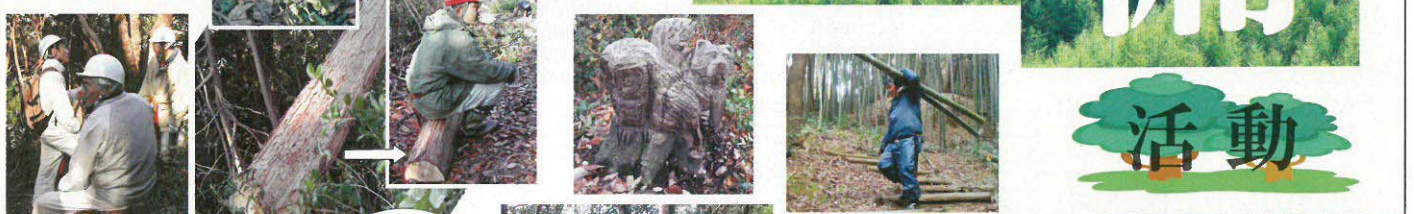
木を切るのは大変だった。でも達成感があり楽しかった。



鷺山

09.11.15
09.12.23
10.1.24
10.2.21
里山整備

鍋敷きの出来上がり



ちょっと一休み



活動

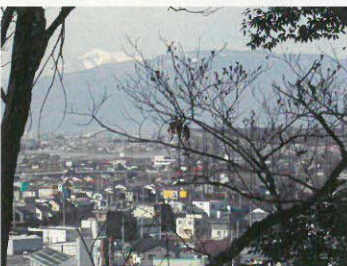


ロープかけ

鷺山の森が元気で子どもも元気!!

この冬も、鷺山の児童と共に鷺山の森の整備活動に取り組みることができました。これで3年目となりますが、今年は今までの活動から発展した点があります。それは、小学校5年生の総合的な学習として「森林環境学習」を行うことになった点です。昨年まではPTAと子ども会育成会をはじめ地域住民の皆さんが、地元のシンボルである鷺山の森の整備を行い、子ども達や地域の皆さんが楽しめる森づくりを目指してきました。それに加え今年からは、子ども達の学習の場として森林整備活動を行うことで、「子ども達の成長の場」としての広がりも見せることになったのです。

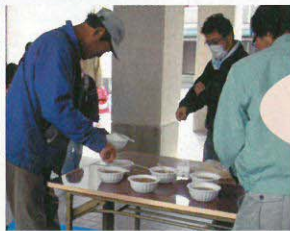
昨年11月15日に行われた「ふるさとふれあい活動」で、森林整備をするために「あの樹を伐ったら森が明るくなる!」「あそこを整備したらよく周りが見えるようになるよ」など、グループで話し合っって森の姿を想像しながら活動に取り組んでいる児童の様子には本当に感心させられました。



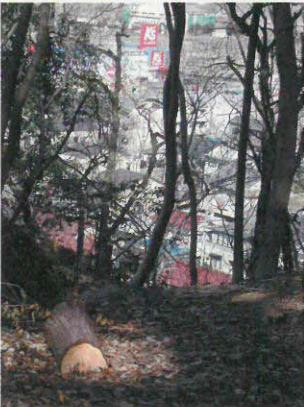
門松作り



平田 亨



ありがとう
ございました



すっきりした鷺山の森



岐阜新聞(2月26日掲載)より



山地区子ども会育成会が参加し、込み入った森で、今年で3年目。同小や、伐採した木を原木としたキノコの菌打ちにも挑戦した。活動後は地域住民有志の鷺昭会が作った豚汁を味わいながら交流を深めていた。

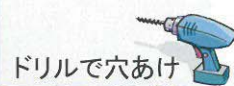
そんな子ども達にいろいろな事を感じ取ってもらうために、鷺山の竹や樹を使って門松を作ったり、キノコ作りにも挑戦中です。この取り組みが子ども達にとっていい刺激になることを祈るばかりです。

そして、お時間がある時に子ども達が整備した鷺山の森に足を運んでみてください。

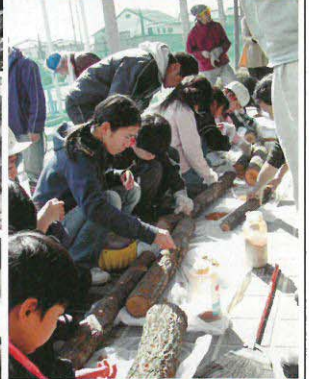
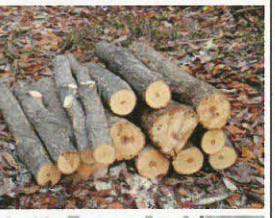
(鷺山小学校PTA会長)



ゴミ捨てないで! →

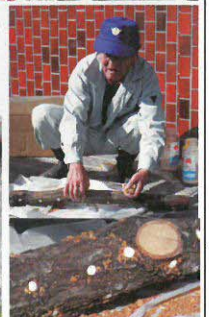


ドリルで穴あけ



菌打ち

楽しみです



ちよつと昔の鷺山の話

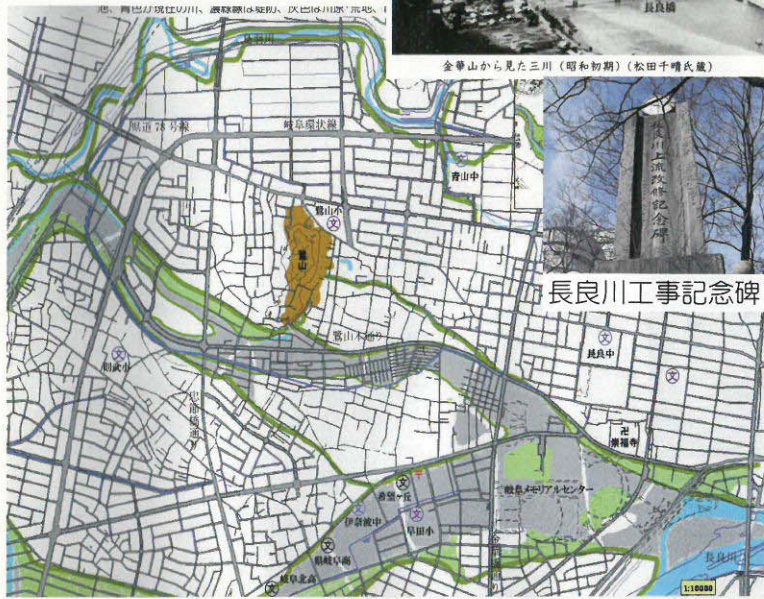
昨年12月20日、鷺山公民館において、「ちよつと昔の鷺山の思い出」を語り合う集いが開かれました。

戦後より大きく変わった鷺山の様子、覚えておられる方たちにお聞きし、記録に残そうと企画されたものです。パネラーの北川清昭さん、川島三郎さん、神野芳昭さんを中心に25名が参加され、鷺山の昭和の話聞くことができました。



公民館での様子

鷺山の昔と今 明治24年の地形図の上に現在の地図を重ねたもの (現在の川 ■) 昔の川・池 ■ 桑畑・竹林 ■ 堤防 ■ 川原・荒地 ■



川が締切られる

昭和10年鷺山村が岐阜市に合併されたのち、昭和14年たびたび氾濫した長良古川・古々川が締切られ、広い河川敷ができました。古々川の堤防が、現在の鷺山本通りとなっています。



鷺山山頂からの正木、水害の様子

◎ 締切る前、現在の高井外科の裏辺りは雨が降ると水浸しになった。正木郵便局裏辺りは松林、川原にはうさぎやきつね・たぬきが出た。
◎ 都ホテルと国際会議場の間、南側に、締切りに関わった人達



の名を記した記念碑がある。この工事は昭和8年から6年がかりの難工事であった。
◎ 鳥羽川や用水路は、ゲンジボタルが群生し、とてもきれいだった。昭和20年代までは見られたが、農業等ではなくなった。

飛行場があった

現在のメモリアルセンター辺りが、飛行場だったという。

◎ 昭和15〜19年頃に、グライダーの飛行学校があり、学生さんたちが訓練をしたとのこと。近隣の青年団(鷺山の他明徳小など)の若者も訓練に集まった。
◎ 初級機訓練(ブライマリー)が行われ、高度は10メートル程



グライダー飛行大会の様子(昭和17年)

滑空時間は30秒位のもので、二枚羽は帆布のようなものが張られ、太さ3〜4センチのゴムを引張り飛ばした。南から北へ飛行した。

陸軍の演習場

日本が戦争に向かう昭和12年頃より、保険局から鷺山正木にかけての廃川敷にて、陸軍の演習が行われたそうです。

◎ 空砲訓練、煙幕中の進行、川を渡る訓練などが、畑や川原の続く様な所で行われた。
◎ 陸軍の士官や将官が民家に泊まった。北川清昭さん宅にも泊まったという。



↑ 昭和16年演習訓練 (向井付近)

昭和13年梨本宮消防御検閲

スキーやスケート

鷺山で竹スキーをしたり、池ではスケートをしたというところでした。

◎竹を縦半分かまぼこ状に切ったものをスキー板にし、鷺山の太子堂や山の上の学校で滑って遊んだ。

◎池で長靴スケートをした。昔は、池に氷が張ったので滑ることができたという。

◎鷺山のふもとや平野さんの裏、保険局の前に池があったので、魚釣りなどできた。

◎マーサの西に大川、清水という池(たぶん長良川の伏流水)には、今では少なくなったハリヨがいた。二本松公園の池にも水が湧いていた。



山上の小学校
昭和10年 平地に建てられた



団地ができた

鷺山の廃川敷地に団地ができました。戦争被災者や、満州からの引揚者の為の住宅地として建てられたものでした。



↑昭和22年頃の清洲町
二軒長屋だった住宅



←昭和63年頃の清洲町

◎昭和22年に現在の清洲町、24年には緑ヶ丘に建設された。ライフラインとなる水道やガスなどなく、細い柱に薄い板葺き屋根やセメント瓦で、台風でよく飛んでしまった。お風呂もなくて不便だった。

◎入居の抽選は大変な倍率で、当選した人は幸運。しかし入居できて付近は何もなく石ころだらけだった。

◎市営・県営住宅のため、家賃を払っていた。

牛馬のせり市

元サークルKから草平記念碑の辺りに、牛馬のせり市があったそうです。草場だったので餌にちよつとよかったです。

◎きんぬき(たぶん解体作業も行われていた。競馬場のよななものもあったらしい。



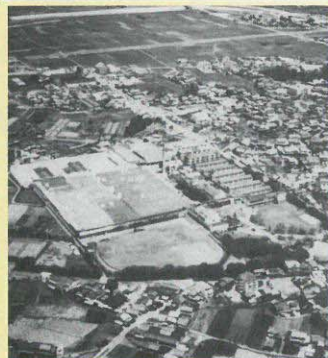
川島紡績など

昭和22年に簡易保険局ができ、更に鷺山が大きく変わったのは、28年に川島紡績ができてからでした。

◎保険局は、戦前丸物百貨店内にあったものが、空襲で焼失したため移転してきた。

◎保険局に700人、川島紡績には1200人という多くの人

が働いていた。鷺山・正木周辺は店や飲食店ができ繁華街となり賑わった。



昭和62年の川島紡績

木炭・電気バス

戦前戦後、木炭バスや電気バスが走っていました。今では考えられないことですが、バスが途中で止まってしまい、乗客が降りて押すことがあったそうです。

◎戦前の道路は、忠節橋から北へ、則武小学校の前を通り黒野方面へ行くものだった。正木地内は通っていなかった。

◎昭和23年に忠節橋が架替えられ、道路が整備されていった。

◎昭和24年に市バスが開通した。道路は堤防跡だったため、まだ石や砂利があるような状態で、砂埃がひどく水撒きをしたという。昭和40年から舗装工事が始まった。



岐阜市の電気バス

鷺山が半分に

昭和38年鷺山が削られて景色が一変しました。

◎日本は高度成長期で、名神高速道路の造成にその土が使われたといえます。



大正初期頃の鷺山(岐阜県図書館蔵)



1960年代に削り取られた鷺山(鷺山史誌より)

参考資料・写真
 ・昭和64年1月発行 鷺山自治会連合会「鷺山史誌」
 ・平成22年1月発行 鷺山まちづくり協議会「鷺山の遺跡・川の移り変わり」

昔の鷺山を語る集いは、今後開かれる機会があると思います。皆さんも参加して、懐かしい思い出話に花を咲かせましょう。

鷺山の福祉

第35号
発行
社福協鷺山支部
☎231-0040



第3回「男の料理教室」を開催

魚をさばく

2月6日、鷺山小学校において、今年度3回目の「男の料理教室」を開催しました。今回のテーマは「老化を防ぐ背の青い魚をもっと身近なものにしよう」として、背の青い魚に含まれる油が血栓予防、動脈硬化予防に有効であることから、この時期一番美味しくなるサバを1時間半かけて完成させました。

(上) 栄養師たっぶりのメニュー

(下) 慎重に刃をあてる参加者の皆さん
(鷺山小家庭科室)



参加者の殆んどの方が魚をさばいたことがなく、特に包丁の使い方が非常に難しかったとの感想が寄せられました。その後、全員で試食を楽しみ始終和やかな中、終了いたしました。



第2回

ふれあい

いきいきサロン開催

今年度第2回「ふれあいいきいきサロン」を校区5地区の公民館において、2月14〜24

日に自治会長、民生委員、日赤奉仕団、食生活改善推進協議会、老人クラブ、市社協北部、市北部ふれあい保健センター、市地域包括支援センター北部等の協力を得て開催いたしました。今回も各地区で工夫を凝らしたメニューが好評で楽しいひとときを過ごしました。第2回参加者は401名、今年度の参加者合計は789名でした。



緑ヶ丘地区 2/14 59名

社協野寺コーディネーターから「長生きの秘訣」は運動習慣を持つ、体を動かす、腹八分目の食事、頭を使うことであるとのお話と童謡「ふるさと」に合わせ、手・指を動かす体操を楽しんだ後、包括支援センターの井藤主任から「認知症予防」も体動かすこと、頭を使うことが予防につながる、更に北部ふれあい保健センター江口保健師から「高齢者は何よりも健康が一番である」とのお話を聴きました。

清洲地区 2/19 71名

社協野寺コーディネーターから「笑いは健康のもと」と題し、体調が悪い時でも敢えて「つくり笑い」をすることで体調は回復する。笑うことで口周りの筋トレ効果もあるという「笑いの大切さ」についてお話を聴いた後、北部ふれあい保健センター翠保健師の指導で「肩こり」の予防に効果がある首周りの筋力アップ体操を行い、包括支援センターの仲村ケアマネージャーからは「認知症予防」のお話を聴きました。

次いで、茂益亭蝶代さんの落語「ローバの休日」と、今、静かなブームを呼んでいる「笑いヨガ」を蝶代さんの指導で実際に体感し、「笑いは健康のもと」を実践して、場は大いに盛り上がりました。

次いで、清洲地区で近い将来実施予定の「災害発生時の近所助け合いグループづくり」いわゆる隣組編成について、長谷副支部長から説明があり、参加者の皆さんの意見を聞く会が行なわれました。



昼食のお弁当を賞味いただいた後、「お楽しみビンゴゲーム」を行ない、楽しいひとときを過ごしました。



豪華な「チラン寿司とお吸い物」の昼食を賞味いただいた後、恒例の「お楽しみビンゴゲーム」を楽しみ終了いたしました。

地区名	第1回	第2回	計
鷺山	76	60	136
正木	111	122	233
清洲	66	71	137
古川	78	89	167
緑ヶ丘	57	59	116
計	388	401	789

一緒に遊ぼう

「おじちゃん・おばちゃん学童保育」を実施

小学校の冬休み中の12月26・27日と1月5・6日の4回に亘り、「おじちゃん・おばちゃん学童保育」を鷺山子ども館を利用して実施しました。

野村老人クラブ連合会長、社協川上副支部長、松前支事が指導者となり、子ども館に遊びに来ていた小学生延べ約40名を相手に将棋、囲碁、オセロゲーム、縄跳び、室内ドッチボール等で毎回、約2時間一緒に遊びました。普段、子ども館では子ども同士の遊びが中心ですが、この日、子どもたちは地域のおじさん相手、指導者は孫相手の遊びとなり、お互いふれあいを深めることが出来ました。

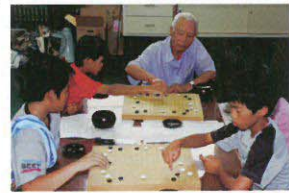


ドッチボールで遊ぶ(子ども館)

今回は事前PRなしで行なったこともあり、小学生の集まりが少なかつたようですが、次回は春休み中に、「俳句教室」等のカルチャー的なものを行ないたいと考えております。又、昨年8月、古川地区子ども会を対

象に若水公民館に
おいて、若水老人クラブの土屋さんの指導で

「夏休み囲碁教室」を4回行ない、延べ約20名が参加、好評を得ております。



囲碁教室の様子
若水公民館

尚、この学童保育は社協の支部が実施する地域福祉計画事業の1つとして、平成21年度事業計画により、鷺山支部は今年度に事業を開始することが決定していたものであります。

「福祉委員の設置事業」生活・介護支援サポーター

養成研修に7名受講中

昨年6月27日、福井県坂井市へ自治会長30名が福祉委員先進地研修に続き、地域に暮らす高齢者等の生活ニーズに応え「住み慣れた地域で安心して暮らせる」仕組みを実現する担い手となる「生活・介護支援サポーター」の養成研修に鷺山支部より支部役員7名が受講中であります。尚、この研修会は1月14日、3月8日までに6回開催されました。

古川地区 2/20 89名

社協野々村コーデイネーターの指導で「手話を使いながら童謡(ふるさと)を歌う、脳トレと手・指腕の体操を楽しんだ後、包括支援センター仲村ケアマネージャーから「認知症予防」のお話を聴きました。



次いで、西濃の老人ホーム等でボランティア活動されている白木久美さんの「手品・マジックショー」、経大亭勝笑さんの落語・漫談「鶴の恩返し現代版」は世相を風刺、おもしろおかしくした内容が彼独自のトーク術で演じられ、会場は笑い一色となり、大いに盛り上がりました。

正木地区 2/21 122名



すっかり馴染みとなり、毎回参加者の皆さんが楽しみにされている、老人クラブ連合会長野村さんによる「俳句・短歌を要るとのこと、全員が野寺さんの指導で下半身を柔軟に、又、転倒防止にもなる体操を童謡(ふるさと)に合わせて行ないました。次いで、包括支援センター井藤主任から「認知症予防」についてお話を聴きました。

鷺山地区 2/24 60名



社協野寺コーデイネーターから「ウォーミングアップ」と題し、高齢者は体を動かす前に少し準備体操が要るとのこと、野寺さんの指導で下半身を柔軟にする体操を行ない、次いで、包括支援センター酒井主任から「包括支援センター」の役割について説明を聴きました。

「お花見寿司」を賞味いただき、大好評の中、終了しました。

午後参加者有志の出演によるカラオケ、腹話術、手品、民謡等を楽しみ、最後に恒例の「お楽しみビンゴゲーム」を行ない、楽しい一日を過ごしました。

又、別部屋には展示コーナーが設けられ、野村会長さんのNHK俳句大会特選入賞句を始め地区住民の方の出品作品を鑑賞しました。



“ふれあい”とは、町をふらふらと歩くことの意味です。

丸い穴の空いた石碑 は白山神社の遙拝所

昨年暮れ、グッドウィルの西、正木川に架かる橋のたもとに新しく石碑が建ちました。

これは白山神社の遙拝所です。正面に立って、穴越しの彼方に見える白山神社を仰ぎ拝むのです。

この遙拝所は、もともと南正木の人達が、(今の道路事情からは想像できませんが)白山神社まで参拝に行くことが困難であったため、大正11年に堤防の上に燈籠(とうろう)を建て、その穴越しに拝んでいたものです。その後、昭和30年頃正木川改修にかかり、近くに川島紡績所有の土地を無償で借りて置かれていました。

今回、区画整理によって再び移転の対象となったため、白山神社が現在の土地を購入し、この遙拝所を心よりどころとし

ている地元の人達の寄付等によって新しく建てられました。



90年近く親しまれてきた燈籠(とうろう)の遙拝所



デザインも新しくなった遙拝所

ちよこっと頭の体操

次のことわざ、正しいのはどっち?

① きゅうすればつうず (答えは7ページ下)

- (a) 求すれば通ず
- (b) 窮すれば通ず

➡ 行き詰まってぎりぎりのところに至れば、かえって活路がひらかれるものだ。という意味です。

② きゅうそねこをかむ

- (a) 窮鼠猫をかむ
- (b) 急鼠猫をかむ

➡ 絶体絶命の窮地に追いつめられれば、弱者とはいえども強者を打ち破ることがあるということ。



チリコンカン

＜材 料＞ (大人4人分)

牛肉(ミンチ)	160g
たまねぎ(みじん切り)	1/4ヶ
金時豆	60g
ウスターソース	大さじ3
トマトケチャップ	大さじ4
にんにく(みじん切り)	1かけ
サラダ油	小さじ1
塩	小さじ1/4
こしょう	少々
とうがらし	1/2本

＜作り方＞

- ①金時豆は下ゆでしておく。
 - ②サラダ油、にんにく、とうがらしを低温で加熱し香りを出す。
 - ③牛肉を加え炒める。
 - ④牛肉が炒まったら、たまねぎを加えよく炒める。
 - ⑤たまねぎが炒まったら金時豆、調味料を加え、加熱する。
 - ⑥よく味をなじませ、とうがらしを取り出して仕上げる。
- ☆豚肉(ミンチ)を使用してもよい。
☆大豆など他の豆を使用してもよい。
☆とうがらしは、細かく刻んで使用してもよい。

森田草平の短編名作集が出版されました

出版されました

2月1日森田草平記念館長の森崎憲司さんと岐阜市立図書館司書の会が、「森田草平短編名作集」を出版しました。

鷺山出身で夏目漱石の弟子として有名な森田草平は、長編小説のほか外国文学の翻訳や約300の短編小説を発表しており、来年は生誕130年にあたります。

森崎さんは、その作品の数々を収集し、森田草平の足跡を研究してこられました。その数ある短編小説の中から10作品を選びすぐりこの名作集ができあがりました。

中学生にも読みやすく配慮されたという森田草平の優れた作品を読んでみませんか。



価格は(税込2千円)

★問合せ先★
岐阜新聞情報センター出版室

(264)1620